



平成22年10月19日  
独立行政法人国立科学博物館

### 企画展「エコで粋！？自然に学ぶネイチャーテクノロジーとライフスタイル展

#### － ‘ものづくり’ と ‘くらし’ のあたらしいか・た・ちー」に関するお知らせ

国立科学博物館（東京・上野公園）では、平成22年10月26日（火）から平成23年2月6日（日）まで、企画展「エコで粋！？自然に学ぶネイチャーテクノロジーとライフスタイル展－ ‘ものづくり’ と ‘くらし’ のあたらしいか・た・ちー」を開催いたします。

本展の開催にあたり以下のとおり開会式を開催致します。つきましては、広報について格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

なお、詳細につきましては別添資料をご覧ください。下記お問い合わせ先へお願い致します。

#### ◆ 企画展

「エコで粋！？自然に学ぶネイチャーテクノロジーとライフスタイル展  
－ ‘ものづくり’ と ‘くらし’ のあたらしいか・た・ちー」開会式

【日 時】平成22年10月26日（火）9：30～11：00  
9：00～ 受付開始（受付：日本館B1F入口付近）  
9：30～11：00 開会式（監修者による展示解説があります）  
\* 当館の開館は、9：00です。

【場 所】国立科学博物館（東京都台東区上野公園7-20）

#### \* 参考

・主 催：独立行政法人国立科学博物館、東北大学環境科学研究科  
特定非営利活動法人ものづくり生命文明機構

#### <当館担当者>

独立行政法人 国立科学博物館  
事業推進部 特別展室長 吉野 英男  
〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20  
TEL:03-5814-9872/FAX:03-5814-9899

#### <本件のお問い合わせ先>

特定非営利活動法人  
ものづくり生命文明機構  
担当：南  
E-mail: minami@womb-to-womb.jp  
TEL:03-5226-5685/FAX:03-3556-9456

平成 22 年 10 月 19 日

報道関係各位

独立行政法人国立科学博物館

### 企画展

## 「エコで粋！？自然に学ぶ ネイチャー・テクノロジーとライフスタイル展 — ‘ものづくり’ と ‘くらし’ のあたらしい か・た・ち—」

人と自然が共に育む豊かな未来のために、科学・技術にできること。

2030年の厳しい環境制約の中でもこころ豊かに暮らすために、  
自然のしくみにヒントを得た環境負荷の低いテクノロジーのたまごたちと、  
日本文化に根差した共生型のライフスタイルをご紹介します。  
あたらしい未来はどこか懐かしい姿をしているかもしれません。  
もう一度、夢を描くところから、一緒にはじめてみませんか？

### 開催及び開会式実施のお知らせ

国立科学博物館（台東区上野公園、館長：近藤 信司）におきましては、10月26日（火）から、企画展「エコで粋！？自然に学ぶ ネイチャー・テクノロジーとライフスタイル展— ‘ものづくり’ と ‘くらし’ のあたらしい か・た・ち—」を開催いたしますので、お知らせいたします。

また、本展の開催にあたって10月26日（火）午前9：30より、別添のとおり開会式を開催いたしますので、併せてご案内申し上げます。

企画展「エコで粋！？自然に学ぶ ネイチャー・テクノロジーとライフスタイル展— ‘ものづくり’ と ‘くらし’ のあたらしい か・た・ち—」は、今後予想される厳しい環境制約の中で持続可能で心豊かな暮らし方への希求が益々求められる中、科学・技術に何ができるかを、「ネイチャー・テクノロジー」の視点から提示するものです。「ネイチャー・テクノロジー」とは、完璧な循環を最も小さなエネルギーで駆動している自然のメカニズムやシステムから、そのしくみを学び、応用して、人と自然が共生するこれからのライフスタイルを実現できる方法を探るものです。

昼は 50℃、夜は 0℃を下回るサバンナ地帯に住むシロアリの巣の中の温度はなぜいつも 30℃なのか？そこから無電源エアコンが生まれました。カタツムリの殻はなぜ汚れないのか？そして、雨が降れば汚れが落ちるビルや汚れの付き難いキッチンが生まれました。泡は熱を運び、弾けるときの出す超音波は洗浄機能を持ちます。そして水の要らない風呂がうまれ、トンボの羽は微風でも回る風力発電機に生まれ変わろうとしています。

自然は、われわれが見習うべきテクノロジーの宝庫なのです。また、自然は完璧な循環を最も小さなエネルギーで駆動しています。本展は、来場者に、この自然のメカニズムや、

システムを改めて科学の眼で観、新しいライフスタイルやテクノロジーの「か・た・ち」を見つけるきっかけを提供することを目的としています。

については、本展の開催にあたって10月26日（火）午前9：30～11：00の間、関係者・プレスの方々を対象にレセプションを実施いたしますので、取材・記事の掲載など当企画展の広報に対して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

## 記

【会 場】 国立科学博物館（台東区上野公園 7-20）地球館地下会場（第2展示室）

【開催期間】 平成22年10月26日（火）～平成23年2月6日（日）

【主 催】 国立科学博物館、東北大学環境科学研究科  
特定非営利活動法人ものづくり生命文明機構

【後 援】 文部科学省、経済産業省、環境省  
バイオミメティクス研究会、ネイチャーテック研究会

【特別協賛】 花王株式会社、株式会社豊田自動織機、積水化学工業株式会社  
日本興亜損害保険株式会社、日本リファイン株式会社

【協 賛】 株式会社 INAX、株式会社電通、株式会社林原生物化学研究所、賢材研究会  
財団法人ファインセラミックスセンター、ソニー株式会社、帝人株式会社  
日東電工株式会社、日本文理大学、富士フイルム株式会社  
三菱ケミカルホールディングスグループ株式会社地球快適化インスティテュー  
ート、三菱電機株式会社、三菱レイヨン株式会社、山本化学工業株式会社  
有限会社エル・プロデュース

【協 力】 沖電気工業株式会社、株式会社岡村製作所、千葉大学、  
独立行政法人農業生物資源研究所、独立行政法人物質・材料研究機構

【監 修】 石田秀輝（東北大学大学院環境科学研究科教授）  
鈴木一義（国立科学博物館理工学研究部科学技術史グループグループ長）

【主な展示物】

- ・ 「なぜカタツムリの殻は汚れないのか」(マイクロガードタイル:株式会社 INAX)、「トンボに学ぶ新しい羽根の形」(トンボ飛翔体ロボット、風車・発電機:日本文理大学)等のネイチャー・テクノロジーを用いた製品の実物展示(計19点)
- ・ 「蚊に刺されても痛くない」(無痛針)等の製品化されているネイチャー・テクノロジーのパネル展示(計15点)
- ・ 「ヤマユガはがん細胞を眠らせる」(制癌剤ヤママリン)等の「ネイチャー・テクノロジーの卵」として、製品化されていない生き物の機能・能力のパネル展示(計30点)
- ・ ネイチャー・テクノロジーがつくるあたらしい「暮らしのかたち」絵巻物

など

以上

報道関係各位

平成 22 年 10 月 19 日  
独立行政法人国立科学博物館

### 企画展

## 「エコで粋！？自然に学ぶ ネイチャー・テクノロジーとライフスタイル展 — ‘ものづくり’ と ‘くらし’ のあたらしい か・た・ち—

### 開会式実施のお知らせ

平成 22 年 10 月 26 日（火）午前 9 時 30 分～／上野・国立科学博物館

国立科学博物館では、企画展「エコで粋！？自然に学ぶ ネイチャー・テクノロジーとライフスタイル展— ‘ものづくり’ と ‘くらし’ のあたらしい か・た・ち—」の開催にあたって、関係者・プレスの方々を対象に開会式を実施いたします。

当日は、監修者による展示解説も行いますので、是非ご参加いただき、取材・記事の掲載など当企画展の広報に対してご支援・ご協力いただければ幸いです。

### 記

【日 時】平成 22 年 10 月 26 日（火）午前 9:30～11:00（受付開始午前 9:00～）

【会 場】国立科学博物館（台東区上野公園 7-20）

【受付場所】国立科学博物館入り口付近

〈交通のご案内〉 JR 上野駅公園口から徒歩 5 分、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅から徒歩 10 分、京成電鉄上野駅から徒歩 10 分 ※駐車場の用意はございません。



以上

## 当日のスケジュール

午前9：00～ 受付開始 （受付場所：国立科学博物館入り口付近）

午前9：30～11：00 内覧会

- ・ 監修者が展示解説を行い、皆様からのご質問にお答えします。
- ・ 展示室内の撮影が可能です。

## 監修者のプロフィール



石田 秀輝（いしだ ひでき） 東北大学大学院環境科学研究科教授

1953年岡山県生まれ。78年伊奈製陶株式会社（現株INAX）入社、空間技術研究所基礎研究所（新設）所長、技術統括部空間デザイン研究所（新設）所長、技術戦略委員会・環境戦略委員会兼任議長 CTO などを経て、2004年より東北大学大学院環境科学研究科教授。工学博士。専門は地質鉱物学をベースとした材料化学。多くの実践経験をもとに、「自然のすごさを賢く活かすものづくり」のパラダイムシフト実現に国内外で積極的に活動している。また、環境リーダー人材育成を目的としたあたらしい大学院 SEMSaT 研究代表、最近では小学生たちの環境教育にも強い関心を持っている。自然のメカニズムを活かした多くの材料を開発し、環境技術倫理にも造詣が深い。地球村研究室代表、ネイチャーテック研究会代表、ものづくり生命文明機構理事、アースウォッチ・ジャパン理事ほか

参加をご希望の方は、下記申込先に貴社名・所属部署・ご芳名・連絡先（電話番号・メールアドレス）・参加人数をご連絡下さい。

※ 事前にお申しただかなくても、当日ご参加できますが、大まかな人数把握をさせていただきたく存じますので、下記担当までご返信いただければ幸いです。

### 連絡・お問い合わせ先

特定非営利活動法人ものづくり生命文明機構 担当：南

E-Mail：minami@womb-to-womb.jp

FAX：03-3556-9456

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-18 九段ビル